



RI District. 2660 Mino-o Rotary Club

WEEKLY BULLETIN

2019-20



会報 No.2448
2020年3月26日発行

RI D.2660
箕面ロータリークラブ

2019-20 President of Rotary International Mark Daniel Maloney

国際ロータリー第2660地区2019-20年度ガバナー 四宮 孝郎

2019-20年度 会長：林 たかみ 幹事：片山 秀樹 広報・会報委員長：浦 収

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町1-1 箕面観光ホテル Tel: 072-724-2781 fax: 072-724-1786
e-mail: mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP: http://mino-orc.net/ 例会日：毎週木曜日 18:30～

◆今週の例会プログラム◆
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休会

◆ロータリーソング◆
奉仕の理想

◆会長挨拶◆ 会長 林 たかみ

1月があっという間にすぎ、2月もあと2日で終わろうとしています。新型コロナウイルスは終息の様子がなく、この2週間が感染拡大か否かの瀬戸際だそうでした。皆さんのイベントが中止になりました。ロータリーでも、地区のイベントはほとんど中止となりました。IMロータリーデーとフレッシュロータリアン親睦会、米山奨学生の終了式および懇親会、米山感謝祭はWEBでの開催、次年度に向けての財団補助金セミナーが中止となったのも前代未聞のことです。本クラブでは本日はプログラムを変更しての例会となりましたが、来週以降どのように対応するか、クラブ運営については各クラブにゆだねられていますので、後程皆様のご意見もお伺いしたうえで、決定しお知らせいたします。

去年は台風や大雨により休会を余儀なくされましたが、今年はこのようなことでクラブ運営を悩まなければならないとは思っていませんでした。これだけ世の中が進歩し、ITが世界を席卷しようとも、人間は永遠に自然災害やその生命を脅かすウイルスとの闘いから逃れられないのかもしれない。

さてウイルスの話ばかりでは気が滅入るので、私の得意の季節ネタです。来週火曜日は3月3日の雛祭りです。雛祭りは桃の節句とも言いますが、これは旧暦の3月3日のころ、つまり今よりひと月ほどあとの4月の桃の花が咲く時期に、行われていた行事であったためにそう呼ばれるようになりました。また、百歳（ももとせ）まで生きられるようにという不老長寿の願いもこめられていました。

以前にもお話ししましたが、中国では奇数の重なる日は縁起が悪いとして邪気払いを行って3月3日もその邪気を払うために日本でも朝廷では水辺でみそぎをして宴会をする「曲水の宴」という風習がありました。そ

◆次週の例会プログラム◆
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休会

◆出席報告 2020年2月27日 2448例会◆
会員数：26名 出席者：15名 出席率 65.21%
前々前回 2020年2月6日 83.33% (参考値)

の後、自分に降りかかる災いをわらや紙で作った人形に代わりに引き受けさせ、川に流すという流し雛や、女の子の人形遊びである「ひいな遊び」などと結びつき、今の雛祭りの風習が300年ほど前の江戸時代に全国に広まっていきました。生まれた子どもが健康で美しく優しい女性に育つようにという願いを込め、桃の節句に雛人形を飾りお祝いすることが今に伝えられています。また3色の菱餅を備えますが、一般的には魔よけの意味を持つ赤い色をクチナシで、純潔を意味する白はひしの実で、そして健康を表す緑はヨモギで色をつけて3色にし、供えるようになりました。お節句を行うことで邪気が祓われて、コロナウイルス感染拡大が少しでも早く終息するよう祈りたいと思います。

◆幹事報告◆ 幹事代理 上島 一彦

- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、
3/21 IMロータリーデー、フレッシュロータリアン親睦交流会は中止
- ・3月の例会予定
3月 5日 ガバナー補佐訪問(田中隆弥バガナー補佐)
12日 卓話 青会員
19日 休会日
26日 卓話 佐藤会員

上記の3月例会はコロナウイルスによる影響ですべて中止となっております。



4つのテスト 言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか

◆SAA 報告◆

SAA 庄司 修二

ニコニコ箱

黄堂泰昌会員：新型肺炎、インフルエンザ、皆のまわりにウイルスがいっぱい！
 浦 収会員：黄堂さん、よろしくお願ひいたします。
 芝野弘三郎会員：新型コロナ、気を付けましょう。
 前田建司会員：コロナ、恐るべしですね！
 林 たかみ会員、木村知也会員、河野優作

米山奨学会

上島一彦会員：新型コロナで業界が悲鳴を上げています。早く終息しますように。
 芝野弘三郎会員、前田建司会員、浦 収会員、黄堂泰昌会員、木村知也会員

ロータリー財団

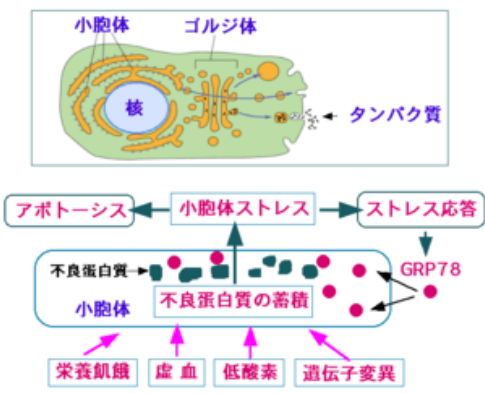
川端崇且会員：体調には気をつけて下さい。
 河野優作会員、西宮富夫会員、前田建司会員、上島一彦会員、木村知也会員、芝野弘三郎会員、浦 収会員

◆卓話◆

黄堂泰昌会員

「小胞体ストレス」という細胞内の現象と糖尿病やアルツハイマー病、骨の病気や不妊との関わりについてのお話です。

私たちの身体は 60 兆個の細胞でできています。その細胞には様々な役割の器官があり、核という染色体の格納庫があり、その中の染色体の一部である遺伝子 (DNA) からはタンパク質が作られます。つまり遺伝子はタンパク質の設計図なのです。そして、「小胞体」という小器官があり、設計図にある遺伝子情報をもとに「タンパク質をつくる組立工場」です。各々の異なる場所にある細胞ではそれぞれ異なるタンパク質をつくっています。例えば、骨の細胞では骨を形成するタンパク質を小胞体で作り、膵臓では血糖値を調整するタンパク質の一種インスリンを作ります。摂取栄養のバランス不足、タンパク質をつくる材料 (アミノ酸) の不足、酸化ストレスなどによる環境変化や遺伝子的要因によって異常なタンパク質が小胞体にたまることを「小胞体ストレス」といいます。



過剰なストレスは細胞死を引き起こします。それが、骨の細胞でおこると、タンパク質の一種のコラーゲンの異常で骨形成不全症という難病になり、膵臓でおこると糖尿病となり、はたまた脳内の神経細胞に異常なタンパク質がたまり細胞死が進行するとアルツハイマー病やパーキンソン病という神経の病気になります。その他、卵巣内の細胞で男性ホルモンや肥満によって小胞体ストレスを引き起こし不妊の原因となることも解って来ています。その他にも、腸内では沢山の種類の腸内細菌がありますが、必ずしも私達にとって有益な物ではありません。ある意味ではそれらの腸内細菌にも対抗するために多くのタンパク質をつくらなければいけない腸の細胞は、常に小胞体ストレスを受けていて、それに対抗する免疫機能としての抗体が作られています。ところが過剰なストレスでその均衡がくずれて潰瘍性大腸炎を引き起こすこととなります。



細胞内のタンパク質組み立て工場、組立員が問題をおこし、不良品のタンパク質が出来ると製造を停めて、不良品を修理する、解体する、組み立てをやり直すために増員されて機能が落ち、さらに不良品がどんどん溜まると製造不全に落ち入る状態が「小胞体ストレス」で、いずれその工場 (=細胞) は機能しなくなり取り壊されます。(=細胞死) これからさらにそのしくみや、治療法、薬の開発などの研究がこの分野でも進められていくことでしょう。

私達の身体のしくみは複雑で、宇宙のしくみを解明するより難しいとも言われています。しかし、私達ができることは、体という一つの社会の中で、様々な工場で様々な物をつくり出してそれを消費し活用して生きています。設計図通りの製品を組み立てるためには、その工場に必要な材料、部品がきちんと常備されていないと、つくり出すべき製品が出来ずに不良品をため込んでしまいます。それが原因で身体のいたる所で機能不全に陥って病気になってしまいます。

免疫力は基礎体質がしっかりしていないと十分に発揮されません。日頃から、規則正しい生活、暴飲暴食をせず腹八分目、栄養バランスを考えた食生活と適度な運動がやはり大切です。